



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788
TEL: 03-6302-1919 FAX: 03-6302-1920
E-mail: general@ncc-j.org http://ncc-j.org

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone: 81-3-6302-1919 Fax: 81-3-6302-1920
E-mail: general@ncc-j.org http://ncc-j.org

首相・閣僚は、靖国神社への参拝・「玉串料」等の奉納をしないで下さい

内閣総理大臣 岸田文雄様

私たち日本キリスト教協議会（NCC）靖国神社問題委員会は、内閣総理大臣及び閣僚に対し、憲法第20条3項の「政教分離原則」を厳格に遵守し、靖国神社及び伊勢神宮に参拝等をしないよう毎年申し入れて来ました。戦前・戦中において国家神道体制の中心的な役割を担った靖国神社に、首相・閣僚らが参拝や玉串料の奉納を行うことは、国家神道体制を防止するために置かれた政教分離原則を踏みにじる明白な違憲行為に当たります。今年の8月15日においても憲法遵守の責任を負っている内閣総理大臣であるあなたや閣僚が、靖国神社への参拝や玉串料の奉納を行わないよう、強く要望します。

靖国神社は、天皇の名の下に国民を兵士として動員し、戦病死した者たちを「神」として祀り、国のために戦死することを最高の名誉として誉め称えるために「明治維新政府」によって作られた神社です。戦死者の「死」を顕彰することによって侵略戦争を美化・正当化し、国のための戦争に命を捧げさせる精神を教化するのが目的でした。

現政権は、昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻を契機に、戦後の日本の在り方を大きく変えて軍備拡大路線を進めました。その現政権の長であるあなたや閣僚が、今年の「敗戦記念日」に、かつて軍国主義の精神的支柱となった靖国神社を再び参拝するならば、戦争遂行の精神を更に前に進める準備をすることになると、私たちは大いに危惧しています。

靖国神社は、戦後、国家機関から宗教法人となりながらも、その教義は戦前と全く変わらず、戦病死者を神として祀り、その死を無条件に誉め称える思想を推し進めています。そのような神社に内閣総理大臣、閣僚らが公的な役職名を付して玉串料等を支出し、参拝を繰り返して来たことは、歴史の反省を反故にする政教分離原則違反の違憲行為と言わざるを得ません。

私たちは、内閣総理大臣、閣僚らが、今年の「敗戦記念日」に、かつて侵略戦争を行なった深い反省に立ち、靖国神社の教義と根本的に対立する日本国憲法の理念に堅く立ち、靖国神社の参拝、玉串料等の奉納を決して行わないよう強く要請致します。

2023年8月7日

日本キリスト教

協議会 (NCC)

靖国神社問題委員会委員長 星出卓也